

平成二十六年 支部総会・懇親会

副支部長 木村 孝

五月十日(土)、ホテル法華クラブを会場に平成二十六年夕陽会渡島支部総会・懇親会が開催されました。

総会では、鈴木支部長の挨拶

に続き、ご来賓の夕陽会会長、橋田恭一様よりご挨拶をいただきました。その後、議案審議に移り、今年度の運営方針、事業計画等が承認されました。役員改選では、鈴木牧男支部長が勇退され、新たに高橋伸夫校長(福島小)が選出されました。高橋支部長を含め、新役員九名を加えて新体制が確立されました。

総会の後には、新会員十名を含めた百三名の参加者のもと、



移動しての会員同士の和やかな交流が行われました。最後は、拍手・寮歌大合唱で盛会のうちを閉じることができました。今年、母校創立百周年の記念の年でもあります。渡島支部としても、総会

議案の中にありますように、「母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに、教育の振興に寄与する」ために、より一層、会員の絆を深めていきたいと思えます。

◎ 母校開学の精神を確かめ、夕陽会の原点である親睦の和を深めるとともに教育の振興に寄与する。

● 運営方針 ●

一、支部・支会の連携強化

- ・ 会員の同窓意識を盛り上げる。
- ・ 会員相互の助け合いを大切に。支部と支会、支会相互のつながりを密にする。
- ・ 情報活動を活発化する。

三、「夕陽渡島」の発行

- ・ 親しまれ読みやすい「夕陽渡島」の発行に努める。(年3回発行)

四、研修事業の活発化

- ・ 新会員激励会を開催し、教職への意欲づけを図る。
- ・ 会員研修の促進と研究実践者の積極的推進を図る。

五、退職会員との連携

- ・ 勇退者への「感謝と激励の会」を開催する。
- ・ 夕陽会渡島支部「終身会員」への勧誘を促進する。
- ・ 勇退会員の資料集「勇退者の横顔と足跡」を発行する。

二、会員の向上・援助

- ・ 会員相互の研修活動を促進する。
- ・ 人材の発掘と登用を積極的に進める。
- ・ 新会員(新採用者・渡島管内勤務初経歴者)への援助・啓蒙に努める。
- ・ 退職会員への感謝と激励に努める。

三、本部及び他支部との連携

- ・ 本部との連携を深めて、会の一層の充実・発展を図る。
- ・ 本部事業への積極的な協力を図る。(百周年に向けての準備)
- ・ 他支部との密接な情報交換・連携を図る。
- ・ 本部からの支援を積極的に求める。

六、本部事業への積極的協力と参加

- ・ 本部主催の行事への積極的参加と協力を行う。
- ・ 本部前納会員への加入のための支援を行う。
- ・ 百周年に向けての活動への協力を行う。

七、関係機関との連携・提供

- ・ 関係機関と連携を強化して、事業を推進する。

八、その他

- ・ 主幹教諭昇任者・教頭昇任者・校長採用者、受賞者等へ祝詞等を送付する。
- ・ 夕陽会新採用が渡島管内小学校に着任した場合祝詞等を送付する。
- ・ 慶弔関係への対応を迅速に行う。

● 事業推進方針 ●

一、支会訪問と支援

- ・ 各支会の総会・会合には積極的に参加し、支部と支会の連携を図る。

二、情報・資料の提供

- ・ 管内及び他支部との情報交換に努める。
- ・ 本部との情報交換を積極的に進める。

支会だより

「歴史と文化の町」



松前支会会長
(大島小学校)

飯田典紀

松前町は日本最北の城と桜、そして歴史と文化が薫る町です。古くは鎌倉時代から和人が移住し始め、室町時代末期に蝦夷地に支配力を持った安東氏の北海道での本拠地として栄えました。以降、北海道と本州を結ぶ要衝として城下町を形成し、札幌中心に北海道開拓が行われるまで、北海道の歴史の重要な部分を占めていました。

桜は、松前藩が賑わいをみせた二百年ほど前から、人々が江戸や京都を偲ぶために持ち込んだのが始まりで、現在は二百五十種類、約一万本が咲き誇るまでになっていきます。

松前町の出身者に、書道家として初めて文化勲章を受章した金子鷗亭がいます。鷗亭は昭和三年四月に函館師範学校第二部に入學して、翌年三月に卒業しました。その間、書は雑誌などを参考に古典を臨書して、独学

で進めていきました。師範学校時代は、書とともに教育学や心理学も熱心に勉強し、優秀な成績で卒業したそうです。(齋藤千鶴子著『金子鷗亭』ミュージアム新書)

鷗亭の学問に対するひたむきさ、強いところごしは、寮歌の一節(「自治の剣」)にあるように、寄宿舎生活で養われたものなのかもしれません。

松前町は、金子鷗亭の偉業を讃え、「北鷗碑林」を松前城の近くの丘に開設しました。学校教育も、小学校が文科省の特例校指定を受けるなど、書道教育を充実させています。

夕陽会松前支会は、松城小学校十名、小島小学校五名、大島小学校四名、松前中学校六名、大島中学校三名、教育委員会一名の合計二十九名です。支会運営のコンセプトは、夕陽の基本である「会員の親睦」と「会員の資質向上」です。全国、全道に広がる夕陽の人的ネットワークを活かし、松前町の教育が一層発展、充実するように、会員の力を結集し、努力して参りたいと思っています。

支会だより

「仲間意識」



長万部支会会長
(長万部小学校)

鈴木俊浩

長万部町のホームページの町の紹介は、「北海道のイタリヤ」ともいわれる道南の渡島半島。そのひざの裏に位置する『長万部町』は人口が約六千人の町です。というセンスある文章から始まっています。長万部といえば「かにめし」ですとか「まんべくん」のイメージでしょうが、私はこの北海道のイタリヤのひざの裏という表現が、妙に気に入っています。

今この町で一番の話題であり、一番の期待は新幹線です。長万部町は、函館と札幌の間に位置し、JR北海道の函館本線・室蘭本線の分岐点で、国道は三本の主要幹線道路が集中しています。洞爺湖方面の観光地や寿都町方面の日本海側の地域との重要な接続点です。それだけに、北海道新幹線が停車することで、産業の振興をはじめ、地域が発

展することを切に願っています。

確かに少子化の影響は大きく、ここ数年で、共立小学校、中の沢小学校、国縫小学校と三校閉校しました。現在、長万部小学校と静狩小学校の三校だけですが、町内の各学校の職員には勢いがあります。この町を支える子供たちを育てているという気概があります。その勢いをそのままストレートに感じるのが、夕陽会長万部支会の懇親会です。今年は六月十一日「長万部温泉ホテル」で行われました。ご来賓として、我々の大先輩である長万部町教育委員会教育長道幸拓志様、夕陽会本部副幹事長平田新次郎様、渡島支部幹事長竹嶋充様をお招きして、大いに盛り上がりました。例年通り会員のほとんどが集まり、一人一杯ずつ毛ガニが付く豪華な料理と美味しいお酒を飲みながら、時間を忘れて話に華が咲きました。今年異動してこられた方とも一気に距離を縮めることができました。三校の連携に非常に役立つ夕陽会。長万部支会はこれからも仲間意識の濃さで勝負です。

平成26年度

夕陽会渡島支部各支会役員名簿

支会名	支 会 長		幹 事 長	
	氏 名	所 属	氏 名	所 属
松 前	飯 田 典 紀	大島小学校	中 野 聡	大島小学校
福 島	鷺 田 里 方 子	吉岡小学校	竹 下 正 彦	吉岡小学校
知 内	榎 山 聡	知内中学校	久保田 浩 紀	知内中学校
木古内	磯 部 伸 一	木古内中学校	井 上 嗣 仁	木古内小学校
北 斗	鈴 木 洋 美	大野小学校	西 田 直	大野小学校
七 飯	佐 藤 耕 一	大中山小学校	小野寺 徹	大沼小学校
鹿 部	土 橋 史 人	鹿部中学校	後 藤 正 弘	鹿部中学校
森	津 田 英 昭	駒ヶ岳小学校	楠 美 元 孝	駒ヶ岳小学校
八 雲	西 村 和 彦	野田生中学校	木 崎 彰	野田生中学校
長万部	鈴 木 俊 浩	長万部小学校	渋 谷 智 実	長万部小学校
五 稜	沢 田 紀 之	渡島教育局	吉 田 昌 幸	渡島教育局

平成26年度

夕陽会渡島支部役員名簿

役 職	氏 名	所 属
顧 問	竹 内 良 容	終身会員
	小 林 基 英	終身会員
	市 川 秀 雄	終身会員
	鈴 木 牧 男	終身会員
支 部 長	小笠原 正 司	上 磯 中
	高 橋 伸 夫	福 島 小
副 支 部 長	木 村 孝 孝	石 別 小
	山 崎 晃	萩 野 小
監 査	小 林 博	七 重 小
	大 德 尚 人	相 沼 小
幹 事 長	竹 嶋 充	峠 下 小
副 幹 事 長	土 橋 史 人	鹿 部 中
会 計 幹 事	小笠原 英 緒	島 川 小
庶 務 幹 事	井 上 嗣 仁	木 古 内 小
	浦 田 慎 一	浜 分 中
	五十嵐 義 幸	上 磯 小
広 報 幹 事	金 澤 力	萩 野 小
	渋 谷 智 実	長 万 部 小

夕陽会渡島支部事務局

〒041-1102
 亀田郡七飯町字峠下420-1
 七飯町立峠下小学校内
 竹嶋 充
 電 話 0138-65-2415
 F A X 0138-65-1347

会 務 中 間 報 告

【平成25年度】

4月5日(土) 各支会現況調査依頼・総会案内大懇親会案内を発送する
 14日(月) 第3回支部役員会議の案内を発送する
 30日(水) 八雲支会総会・懇親会に出席する
 (井上幹事長)
 第3回支部役員会議を開催する
 (萩野小)

【平成26年度】

5月10日(土) 平成26年度支部総会・大懇親会(新会員歓迎会)を開催する
 (ホテル法華クラブ函館)
 参加者 103名
 12日(月) 支部大懇親会・新会員歓迎会の礼状を発送する
 30日(金) 鹿部支会総会・懇親会に出席する
 (山崎副支部長)
 奥崎昭夫様(終身会員)
 ご逝去に弔電と香典を送付する
 6日(金) 知内支会総会・懇親会に出席する
 (高橋支部長)
 北海道教育大学函館校創立百周年記念講演会・式典・祝賀会に出席する
 7日(土) 北海道教育大学函館校創立百周年記念講演会・式典・祝賀会に出席する
 11日(水) 長万部支会総会・懇親会に出席する
 (竹嶋幹事長)
 松前支会総会・懇親会に出席する
 (大徳監査)
 第1回支部役員会議の案内を発送する

13日(金)

第4回本部役員会に出席する
 (国際ホテル 竹嶋幹事長)
 16日(月) 北斗支会総会・懇親会に出席する
 (竹嶋幹事長)
 21日(土) 全国支部長会議に出席する
 (国際ホテル 高橋支部長・竹嶋幹事長)
 本部総会・大懇親会に出席する
 (大懇親会支部参加者 43名)

23日(月)

平成26年度会費納入依頼文書を各支会に発送する
 第1回支会長幹事長会議の案内を各支会に発送する
 北海道教育大学函館校キャリアセンター「第2次検査対策特別講座」の開催・夕陽「明日の教師養成塾」の開催案内を各支会に発送する
 7月7日(月) 第1回支部役員会議を開催する
 (萩野小)
 11日(金) 森支会総会・懇親会に出席する
 (高橋支部長)
 七飯支会総会・懇親会に出席する
 (山崎副支部長)
 福島支会総会・懇親会に出席する
 (木村副支部長)
 18日(金) 第1回支会長幹事長会議を開催する
 (大中山コモン)